

(5) 主要花きの入荷と価格の見通し

仙台市中央卸売市場
(電話) 232-8123

【切花類の概要】

今年は台風等の自然災害の影響は少なく生育状況は概ね順調ですが、運賃や燃料費、資材費の高騰を受け生産量の減少や年内出荷の遅れが見受けられ年明け出荷になっている生産者も多く、国内物に関して年末需要期は少ないことが予想されます。さらに、輸入品は円安、運賃高騰から前年以上に厳しい状況になっており、品目によっては品薄が懸念されます。全体的に注文価格の上昇から注文数量、一般買参人の購入数量の減少が懸念されます。入荷のピークは12月23日と12月26と予想されます。年始は前年並みの入荷は見込まれますが、それ以降は前年より少ない入荷で推移することが予測されます。

【品目別】

キク	輪菊は宮城・栃木・静岡・愛知・福岡・熊本・長崎・沖縄産です。ディスプレイマムやスプレー菊に品目転換する生産者が増えていることから、輪菊は減少傾向です。スプレー菊は宮城・栃木・愛知・鹿児島産です。生育は順調で前年並みの入荷が期待されます。輸入スプレーマムの動向は不透明です。小菊は沖縄産中心となります。栽培面積は微減ですが台風被害は無く順調な生育となっています。輪菊とスプレー菊に関しては上位等級が少なめです。12月中旬から入荷は増えますが、上位等級品の入荷のピークは12月23日でその後は減少します。価格は上位等級品を中心に堅調な相場が予想されます。年始は葬儀需要中心の安定した相場が見込まれます。
バラ	宮城・山形・栃木・静岡・愛知産中心の入荷となります。年末に向けて上位等級の比率が高まってきます。国産は前年並みの入荷が見込まれますが、輸入品は少なめです。12月20日以降は品薄が予想されることから、上位等級を中心に高値相場が予想されます。年始以降は燃料代の高騰で暖房費を抑える傾向にあることから、入荷は少なめで推移し価格は前年並みが予想されます。
カーネーション	宮城・栃木・愛知・長崎産中心の入荷となります。大輪系は順調な生育状況で、ある程度草丈の長い物の入荷が見込まれます。スプレー系も生育は順調ですが大輪系に比べて、草丈は若干短いものの品質は良好です。輸入品はコロンビアと中国産中心に前年並みの入荷が見込まれます。円安、運賃高騰から注文中心の入荷が見込まれますが、注文単価が前年の3割高となっています。年明け以降は業務需要中心となり、前年並みの価格が予想されます。
マツ	茨城・秋田・愛媛産中心の入荷となります。事前情報では順調な生育でしたが、10月後半から収穫・選別作業が始まると、予想以上に立ち枯れ等によるロスが多く、根引き松は減少する見込みで、予約相対取引中心となります。五葉松は作付け自体が大幅に減少しています。資材費や人件費の高騰で注文単価が上がっており、価格は前年の1割高が見込まれます。
千両	茨城・千葉・静岡産中心の入荷となります。6月下旬から7月上旬にかけて高温・干ばつの影響から実付きが悪くなり、入荷数量は大幅に減少し、前年比70%となり、上位等級は極端に少なく、価格は前年の2割高が見込まれます。

【鉢物類の概要】

11月以降はシクラメン、ポインセチア、シンビジューム等中心の入荷となっています。5月、6月の天候不順の影響はあるものの概ね順調な入荷状況となっています。12月上旬はお歳暮商戦に向けた高品質なものが多く入荷します。価格は燃料費や資材費の高騰から注文単価は値上げされています。年末年始はヒアシンス、チューリップなどの球根類とポリアンサやオブコニカ等のプリムラ類や、サイネリア・マーガレット等の早春の草花類が入荷します。価格は前年並みの見込みです。

【品目別】

シクラメン	岩手、宮城、福島、埼玉、茨城、栃木、千葉、山梨産中心の入荷となります。5月、6月の天候不順の影響で生育は遅れていましたが、11月下旬には5寸鉢を中心に潤沢な入荷となりました。12月上旬は、お歳暮商戦に向けて高品質なものが入荷します。価格は弱含みで推移しています。
シンビジューム	山梨・長野・愛知・埼玉・栃木産中心の入荷となります。生育は順調ですが生産量は減少傾向です。入荷は12月上旬より本格的に入荷見込みで、立系は本数の多いものが減り3本、4本立ちの入荷が多くなり年末に需要の多い1本、2本立ちは品薄となります。立系は弱保ち合いの相場。人気のアーチ系は強保合の相場推移となりそうです。